

# 注 意 報

6 病 第 1 4 号  
令和 6 年 5 月 2 日

関係各位

京都府病虫害防除所長  
( 公 印 省 略 )

病虫害発生予察情報について

下記のとおり、発表しましたので送付します。

## 病虫害発生予察注意報第 1 号

- |        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 1 作物名  | 果樹全般                                 |
| 2 病虫害名 | 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ） |
| 3 発生地域 | 府内全域                                 |
| 4 発生時期 | 5月上旬～                                |
| 5 発生量  | 多                                    |



### 6 注意報発令の根拠

- (1) チャバネアオカメムシの越冬量は、山城及び丹後地域で平年並、丹波地域で平年比多い（表 1）。
- (2) 4 月第 6 半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い（表 2）。
- (3) 4 月第 6 半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯（ブラックライト、以下 BL）への誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い（表 3）。
- (4) 4 月第 6 半旬現在、クサギカメムシの予察灯（BL）への誘殺数は京田辺市で誘殺を認めず（平年並）、亀岡市及び京丹後市で平年比多い（表 4）。
- (5) 4 月第 6 半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯（BL）への誘殺数は京田辺市で平年比多く、亀岡市及び京丹後市で誘殺を認めていない（平年並）（表 5）。
- (6) 4 月 2 5 日発表の近畿地方の気象 1 か月予報では、気温は高く降水量はほぼ平年並とされ、今後果樹園への飛来が増加するおそれがある。

### 7 防除上の注意事項

- (1) カメムシ類は局地的に発生し被害をもたらすこともあるため、園内外の成虫発生状況をこまめに観察し、発生を認めたら早めに防除すること。特に、山林等の隣接園では注意する。
- (2) カメムシ類は、夜温が高く風の弱い日の日没頃に多く飛来する。
- (3) 合成ピレスロイド剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類が多発する恐れがあるので避けること。
- (4) ナシやモモの有袋栽培では、早めに袋掛けを行う。

表1 越冬成虫数(チャハネアオカメムシ)

地域	本年	平年値
山城	0.38	0.80
丹波	1.08	0.30
丹後	0.13	0.25

※平均生存個体数(頭/地点)

表2 フェロモンラップへの誘殺状況(チャハネアオカメムシ)

場所	本年	平年値
京田辺市	6.0	0.1
亀岡市	15.0	3.3
京丹後市	3.0	0.4

※誘殺数:4月第1半旬~4月第6半旬の合計値

表3 予察灯(BL)への誘殺状況(チャハネアオカメムシ)

場所	本年	平年値
京田辺市	10	1.3
亀岡市	15	0.1
京丹後市	6	0.9

※誘殺数:4月第1半旬~4月第6半旬の合計値

表4 予察灯(BL)への誘殺状況(クサキカメムシ)

場所	本年	平年値
京田辺市	0	0.0
亀岡市	1	0.0
京丹後市	8	1.1

※誘殺数:4月第1半旬~4月第6半旬の合計値

表5 予察灯(BL)への誘殺状況(ツヤアオカメムシ)

場所	本年	平年値
京田辺市	14	0.2
亀岡市	0	0.0
京丹後市	0	0.2

※誘殺数:4月第1半旬~4月第6半旬の合計値

農薬の使用に当たっては、ラベル及び最新の使用方法や注意事項を確認すること。また、各薬剤の使用回数を守るとともに、同一成分を含む農薬の総使用回数についても注意すること。